

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は最終仕入原価法に基づく原価法によっておこなっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。なお、取得価額10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事業準備積立資産(特)	5,011,085	262	540,000	4,471,347
災害支援積立資産(特)	0	0	0	0
小計	5,011,085	262	540,000	4,471,347
合計	5,011,085	262	540,000	4,471,347

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
事業準備積立資産(特)	4,471,347	0	4,471,347	0
小計	4,471,347	0	4,471,347	0
合計	4,471,347	0	4,471,347	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
リース資産	217,728	54,432	163,296
ソフトウェア	540,000	72,000	468,000
合計	757,728	126,432	631,296